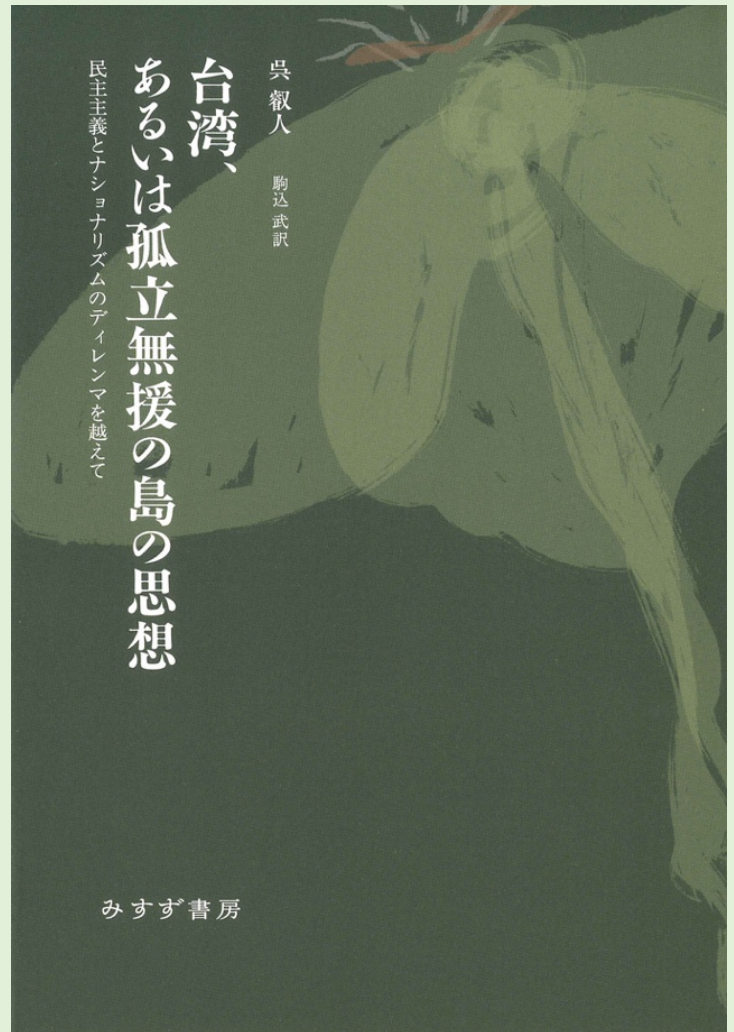


# 呉叡人『台湾、あるいは孤立無援の島の思想』 (みすず書房、2021年) 合評会

GSIキャラバン「『小国』の経験から普遍を問い直す」は、これまでおもに英語圏でなされてきた国際関係論などのグローバル・スタディーズには、しばしば「大国」の観点から自明のものとして持ち込まれ、また西洋近代的な「普遍」が前提とされているのではないかという問題意識を持ち、「小国」の観点から「普遍」のあり方を問いなおすことを目的にしている。

本合評会では、呉叡人『台湾、あるいは孤立無援の島の思想』（駒込武訳、みすず書房、2021年：原題《受困的思想：臺灣重返世界》衛城出版、2016年）を出発点として、「小国」「ネーション」「ナショナリズム」といった諸概念の再考を試みる。



## 【日時】

2021年9月29日（水）11:00-13:00

## 【場所】

Zoom ※関係者限定

（URLは追ってお知らせいたします）

## 【プログラム】

11:00-11:20 発表者1：前野清太郎（東アジア藝文書院 特任助教）

11:20-11:40 発表者2：崎濱紗奈（東アジア藝文書院 特任研究員）

11:40-12:00 コメント：張政遠（東京大学総合文化研究科准教授）

12:00-13:00 全体ディスカッション



Organized by Institute for Advanced Global Studies